

1. 研究活動

〈学術論文〉			
"Zamborlin Chiara & Mizuno Ruki ""Analytic/experiential materials for teaching Italian"	2009. 7	In A. Stoke (Ed.), JALT2008 Conference Proceedings. Tokyo: JALT pp. 1307-1316	芸術大学で行われる外国語教育の状況を考慮し、愛知県立芸術大学の水野先生とのコラボレーションで作成したイタリア語教材についての考察。
"Quadro di Riferimento per lo Studio dell' Italiano del Canto Lirico in Giappone. Aspetti Fonologico-Contrastivi, Tratti Microlinguistici e Implicazioni Pragmatico-Interculturali"	2010. 3	NIDABA 39: pp. 41-50	本学で行うオペラディクシオンのクラス（お主に「舞台言語表現演習（大学院）」における学生の間違いや誤解に関するコーパスを収集し、本論ではそのデータを分析した。
「『カヴァッレリア・ルスティカーナ』における愛の有様と明暗～異文化間理解を目指したオペラ台本解釈～」	2010. 3	名古屋芸術大学研究紀要 31: pp. 175-194	2008 年度、音楽学部におけるイタリア語Ⅲの授業で『カヴァッレリア・ルスティカーナ』オペラ台本を解釈した。本論では語用論的なアプローチに基づきその経験について語った。
〈研究をかねた社会貢献〉			
『あしあと－LITTERAE COMMUNIONIS』国際雑誌（日本語版）			伊和翻訳（ボランティア協力者）

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目（大学院）舞台言語表現演習	2009年11月23日愛知県立芸術大学での「芸術と諸科学」との科目において2コマ講義を行った。講義題名：「『ピノッキオの冒険』又は人間の隠喩的物語」。		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期			
工夫の概要	教材・資料等の概要		
オペラディクシオンを詳しく教え、様々なオペラ台本の文化的背景について説明した。	オペラ台本に基づいて、練習問題やテストを作成した。		
授業科目（大学院）外国語研究 イタリア語			
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期			
工夫の概要	教材・資料等の概要		
『ペーリエ』付属DVDに基づいたイタリア語コミュニケーションの授業を行った。	『ペーリエ体験しようイタリア語（聴解と表現）』（Mizuno & Zamborlin 2009）		
授業科目 イタリア語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
◆前期 ◆後期			
工夫の概要	教材・資料等の概要		
Keynote スライドショーのアニメーションに基づいた語学教育を行った。	補足的な教材を作成した。ウェブサイトを作り様々な教材をアップロードした。URL: http://web.me.com/zamborlin/italiano_in_giappone/		
授業科目 異文化入門（イタリア）			
◆前期 ◆後期			

工夫の概要	教材・資料等の概要
講義は Keynote プレゼンテーションの形で行った。	イタリア文化についての教材を作成した。ウェブサイトを作り様々な教材をアップロードした。URL: http://web.me.com/zamborlin/italiano_in_giappone/

3. 学会等および社会における主な活動

Japan Association for Language Teaching — 全国語学教育学会 (日本)	1994～現在に至る	会員
Associazione Italiana Studi Giapponesi — 伊日研究学会 (イタリア)	2001～現在に至る	会員
Linguistic Association of West Japan — 西日本言語学会 (日本)	2002～現在に至る	会員
International Pragmatics Association 国際語用論会 (ベルギー)	2006～現在に至る	会員